

はく び 帛の帯

五泉市無形文化財

昭和60年10月31日指定

武家の踊りで、甘糟備後守景継（あまかすびんごのかみ かげつぐ）が創始という伝承が残るものです。鎧の上に綿の入った絹の刀帯を締め、出陣の前夜に士気を鼓舞するために踊ったところに由来します。

五泉独特の踊りであり、能の所作を多分に取り入れたものです。踊り手は男性で、見る人と対面し横一列に並んで一礼します。歌と同時に踊り始め、歌の終わりと同時に一礼して終わりです。踊り手は、白紙一枚の上で踊るとされ、その装束や小道具は紋付きに袴を付け腰に白扇を差します。

古来の様式を残したものとして、昭和60年（1985年）に五泉市の無形文化財に指定され、現在も保存会によって伝承されています。

五泉市民音楽祭

五泉市民音楽祭



市美術展覧会





五泉市
いけばな展
文化展(団体)
ジュニア作品展
Ikebana Exhibition
BOSSEN CITY

受付案内

いけばな展

問診票の記入をお
文化展
ジュニア作品展

問診票の記入をお
文化展
ジュニア作品展

文化展(団体)



ジュニア作品展



五泉市民芸能祭



五泉市民芸能祭

村松甚句保存会

村松甚句保存会